

25 総合的な交通環境の整備			
主管課名	交通対策課		
主管課長名	坂本 主税	電話番号	042-481-7531
関係課名 (組織順)	環境政策課, 街づくり事業課, 道路管理課, 学務課		
目的	対象	市民, 市内公共交通機関の利用者	
	意図	安全, 快適, 円滑に目的地まで移動できる	
施策の方向	将来の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに, 交通安全対策の推進, 環境への負荷の少ない自転車利用の促進などを通じて, だれもが安心して移動できる総合的な交通環境が整ったまちづくりを進めます。		

< 施策と関連するSDGsの目標 (ゴール) >



1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

施策の成果向上に向けた主な取組実績	
<p align="center">施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)</p>	
<p>(25-1 公共交通ネットワークの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市ミニバス及び既存の路線バスについて, バス事業者と利用者の利便性向上 (地域の要望による既存路線バスの延伸や新規路線の運行を含む) について協議した。 自転車走行環境整備に向け関係機関との協議調整を進めた。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 調布市バリアフリー推進協議会を通じて, 公共交通をはじめとする各事業者の特定事業計画の進捗状況を把握するとともに, 当事者の声を各事業者に届け, バリアフリー推進を図った。
<p>(25-2 交通安全対策の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども交通安全教室を運営し, 子どもだけでなく親の交通安全意識の向上にも努めた。 自転車が関与した事故を減少させるため, 自転車安全利用講習会を開催したほか, スケアードストレイト方式による自転車交通安全教室を開催することで, 市民への啓発に努めた。 春と秋の交通安全運動など各種事業を通じて, 市民の交通安全に対する意識向上を図った。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校, 教育委員会, 園児交通安全防犯協会, 調布市, 調布警察署の合同で, 通学路等の安全点検を実施し, 連携を図り, 可能な対策を推進した。
<p>(25-3 自転車利用の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> つつじヶ丘駅, 調布駅, 西調布駅の各駅周辺で自転車等駐車を開設し利便性向上を図った。 ラグビーワールドカップ 2019 に合わせ, 駅前放置自転車クリーンキャンペーンを実施し, 市民への意識啓発を図った。 調布市自転車等対策実施計画について, 社会情勢等の変化に対応するための改定作業に着手した。 	<p>①横断的連携による施策の推進</p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の利便性, 来街者の回遊性向上などを目的に, 庁内各部署と連携し, 気軽に自転車利用が可能なシェアサイクル事業の導入に向け実証実験を開始した。
<p>< 令和元年度における施策の成果についての総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者交通安全指導員講習会で, 市民団体の協力のもと免許証の自主返納についての啓発を行った。 自転車等駐車場の利用料金の見直しを行い, 調布駅周辺で一時的利用が50%増えた自転車等駐車場があるなど利便性の向上を図った。 調布市自転車等対策実施計画の改定に着手し, 調布駅南地下自転車駐車場の代替案を作成した。 駅前放置自転車クリーンキャンペーンなどにより, 放置自転車撤去台数を前年度比で1,025台減少させた。 シェアサイクルの実証実験を開始し, 民間施設も含めてサイクルステーションを42箇所まで拡大した。 	

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合【☆，◎】	76.3 (H30)	%	75.2	77.0
2	市内における交通人身事故件数（暦年）【☆】	386 (H30)	件	424	370
3	自転車等駐車場の有料化整備率【☆，◎】	85.4 (H29)	%	90.2	92.3
【備考】					

2 令和元年度の振り返り — 評価 (CHECK)

総合評価	A	<p>S：「顕著な取組成果が得られた。計画以上に目標を達成した。」</p> <p>A：「予定した取組成果が得られた。計画どおりに目標を達成した。」</p> <p>B：「一定程度の取組成果が得られた。概ね計画どおりに目標を達成した。」</p> <p>C：「予定した取組成果が得られなかった。目標達成にはやや至らなかった。」</p> <p>D：「取組成果が得られなかった。目標達成までには至らなかった。」</p>
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実態にあわせて2箇所の借地自転車等駐車場を閉鎖するとともに、つつじヶ丘駅周辺等において、自転車等駐車場を4箇所開設できたため。 ・自転車等対策実施計画の改定に着手し、調布駅南地下自転車駐車場の代替案を作成できたため。 ・シェアサイクル事業の導入に向け実証実験を開始し、市民の利便性・来街者の回遊性の向上を図れたため。 	

3 施策の方向 — (ACTION)

区分	今後の取組の方向 ★：重点プロジェクトに関連する取組，●：新規の取組，○：拡充の検討を要する取組
令和2年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●社会情勢の変化や市民ニーズに対応するため総合交通計画の改定に向けた検討を実施 ●現バリアフリー基本構想の終了に伴い、引き続きバリアフリーを推進するため、次期調布市バリアフリー基本構想策定に向けた調査・検討を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・調布市ミニバス及び既存路線バスの利便性向上に向けた取組 ・自転車の活用推進のため、自転車走行環境整備を推進 ・シェアサイクルの本格導入に向けた調査検討と庁内連携の拡大 ●自転車利用者の損害賠償保険の義務化に伴うTSマーク事業の実施 ★買い物客などによる放置自転車が多い歩道部への路上駐輪場の設置に向けた調査検討の実施 ★調布市自転車等対策実施計画の改定と調布駅南地下自転車駐車場の都市計画変更（廃止）
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応	<ul style="list-style-type: none"> ・春の親子交通安全教室を中止した。 ・休校期間の延長に伴い自転車定期利用（学生）については、使用期間を2箇月延伸した。
東京2020大会開催延期に伴う対応	
台風への対応を踏まえた災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ●国領駅南口市営駐車場の避難時の活用に関して関係課と連携し検討を行う。
令和3年度以降の計画期間内の取組 (令和2年度から継続する取組を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的に自転車活用施策を展開するための自転車活用推進計画の検討を実施 ★既存自転車等駐車場の管理機器の老朽化に対応するため更新計画の検討を実施

25 総合的な交通環境の整備

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	事務事業の概要
1	交通計画等の検討		●	交通対策課	調布市総合交通計画に基づき、今後の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークや公共交通の利用環境の向上に向けた検討を進める。 また、総合交通計画の見直しを進めるとともに、次期バリアフリー基本構想を策定し、各種バリアフリーの取組を推進する。
2	自転車等駐車場の整備・有料化	④	●	交通対策課	調布市自転車等対策実施計画（改定版）に基づき、各駅周辺の需要を満たす恒久的な自転車等駐車場の整備・有料化を進める。

2.5 総合的な交通環境の整備

※各事務事業の概要については、巻末の「⑦事務事業概要一覧」をご参照ください。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R1 決算事業費(千円)	令和元年度の取組実績	実績評価	進捗状況・今後の取組の方向性									
								R1 取組実績				方向性				今後の取組内容 <small>(新型コロナウイルス感染症の影響に関する内容は冒頭に◆印を記載しています)</small>	
								計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善	改善余地なし		
1	交通計画等の検討		●	交通対策課	2,292	バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー特定事業計画の進捗状況について、各特定事業者に対する調査を実施し、その結果を「調布市バリアフリー推進協議会」において報告するとともに、協議会での意見を特定事業者へフィードバックするなど、バリアフリーに関する取組の推進を図った。また、シェアサイクルの実証実験を開始し、42箇所のステーション・325基のラックを設置するとともに、自転車等対策実施計画の改定作業に着手した。	◎		●		●						平成23年4月に策定した調布市総合交通計画（目標年次2030年）については、令和3年度を目途に基本目標の実現に向けた中間見直しを行う。平成24年3月に策定した調布市バリアフリー基本構想については、最終年度が令和2年度のため、令和3年度における次期基本構想の策定に向けて、令和2年度には見直しの検討を行う。自転車ネットワーク計画に基づいて自転車ナビマーク等の路面標示を使用し、自転車走行環境の整備を進める。市民や来訪者の手軽な交通手段の確保や交通空白地域も補完する施策として、令和元年度からシェアサイクルの社会実証実験に取り組んでおり、本格導入に向けた取組を進める。
2	自転車等駐車場の整備・有料化	④	●	交通対策課	240,700	調布駅南地下駐輪場の整備については、計画を見直し、駅周辺での代替施設の確保に向けて、取り組むこととした。調布駅、つつじヶ丘駅、西調布駅周辺において、4箇所の有料自転車等駐車場を開設した。自転車等駐車場利用者の利便性向上のため、6時間100円の一時使用料金を12時間100円に見直す条例改正を行った（平成31年4月1日施行）。令和元年度は一時利用時間の延長により市内各駅の駐輪場で利用者は前年より増加した。また、飛田給北自転車駐車場、京王多摩川自転車等駐車場について機械化したことにより、利用者の利便性が向上した。	○		●			●				調布市自転車等対策実施計画（改定版）に合わせた市内全域の自転車等駐車場の整備・有料化と恒久的な施設運営に向けた取組を継続して進める。また、老朽化した管理施設の計画的な更新を進める。つつじヶ丘駅周辺については、北口に恒久的な施設整備ができるように用地確保を検討する。調布駅南地下自転車駐車場の代替施設については、借地駐輪場の用地の長期賃貸借契約締結に向け協議・調整を進める。	
								0	2	0	1	0	1	0	0	計	
								0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	割合(%)	

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「⑥事務事業一覧（施策体系順）」をご参照ください。